令和６年度用小学校音楽

第２学年　年間学習指導計画作成資料（2024. 3. 8）

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

・本資料は、弊社発行の令和６年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽１～６ 〈104～604〉」に基づいて作成しています。

【「題材の目標」について】

・各学年の題材の目標は、学習指導要領（平成 29 年告示）に示されている、育成を目指す資質・能力の三つの柱、

（１）「知識及び技能」の習得に関する目標

（２）「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標

（３）「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標

の視点に基づいて作成しています。

（１）について、文章の前半では表現及び鑑賞の知識に対応する内容を、後半では表現の技能に対応する内容を示しています。

【「扱い月の目安」について】

・本資料で示されている扱い月は目安となります。３学期制と２学期制それぞれ示しておりますので、各校の実態に応じて、指導される学期や月を調整のうえ、ご活用ください。

【「扱い時数」について】

・教育課程で標準とされる授業時数に即し、各題材や「みんなで楽しく」などの巻頭・巻末教材も含めたかたちで、扱い時数を設定しています（中学年は巻頭・巻末教材を除く）。

・巻末教材に配当された時数については、巻末教材を本文中の題材と関連付けて取り上げる場合や、授業時数に調整の必要が生じた場合などにおいて、扱い時数を調整するためにご活用ください。

・国歌「君が代」につきましては、『国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること。』と示された学習指導要領の趣旨にしたがい、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

【「学習指導要領の内容との関連」について】

・弊社発行の「小学生の音楽」教科書の題材構成において、各題材は、「何を中心に学習し、どのような子供の資質・能力を育てるのか（＝どのような観点で評価するのか）」という目標にそって教材を配列しています。

・「Ａ表現」⑴歌唱、⑵器楽、⑶音楽づくりのア、イ、ウの各事項、「Ｂ鑑賞」のア、イの指導事項は、 各題材内の中で〔共通事項〕を要として教材どうしがつながり、ときに往還し関連しながら、指導できるように配慮しています。

・学期ごとや１年間を通して、各観点がバランスよく位置付けられ、題材間の関連が図られているか、という視点にも配慮しています。

・それらを踏まえ、【評価に関わる】指導事項を◎で記し、それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を〇で記しています。

・〔共通事項〕に示している音楽を形づくっている要素において**太字**で記しているものは、題材内で中心となる要素を示しています。

第２学年　年間学習指導計画作成資料

学習指導要領の内容との関連（ア：思考力、判断力、表現力等　イ：知識　ウ：技能　に関する資質・能力）

【第１学年及び第２学年 目標】
(1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
(2)音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
(3)楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

扱い月の目安		扱い時数 合計70	題材名	題材の目標 (1)「知識及び技能」の習得 (2)「思考力、判断力、表現力等」の育成 (3)「学びに向かう力、人間性等」の涵養	学習目標	教材名 ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり　♪…鑑賞 (共)…共通教材	A表現 歌唱 ア	A表現 歌唱 イ	A表現 歌唱 ウ (ア)	A表現 歌唱 ウ (イ)	A表現 歌唱 ウ (ウ)	A表現 器楽 ア	A表現 器楽 イ (ア)	A表現 器楽 イ (イ)	A表現 器楽 ウ (ア)	A表現 器楽 ウ (イ)	A表現 器楽 ウ (ウ)	A表現 音楽づくり ア (ア)	A表現 音楽づくり ア (イ)	A表現 音楽づくり イ (ア)	A表現 音楽づくり イ (イ)	A表現 音楽づくり ウ (ア)	A表現 音楽づくり ウ (イ)	B鑑賞 鑑賞 ア	B鑑賞 鑑賞 イ	〔共通事項〕 ア 音楽を形づくっている要素	〔共通事項〕 イ 音符、休符、記号や用語
4	4	4	1. 音楽で みんなと つながろう	(1)曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱の技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)曲想を感じ取って音楽を聴いたり、声を合わせて歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、日本や世界の遊び歌、踊りの音楽に親しむ。	・自分の こえや ともだちの こえを よく きいて うたいましょう。	○メッセージ		◎	○	○	○															音色 リズム 強弱 **拍** 呼びかけと こたえ	
					・ともだちと せかいの あそびうたを 楽しみましょう。	♪小犬の ビンゴ			○														◎	◎		
						♪ロンドンばし（参考曲）			○														○	○		
					・かくれんぼで あそんで いる ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	(共)かくれんぼ	◎	◎	○	◎	◎															
					・いろいろな くにの おどりの 音楽を 楽しみましょう。	♪ティニクリン／ エース オブ ダイヤモンド／ とーしん ドーイ ♪ドードレブスカ ポルカ（参考曲）																	◎	◎		
5	5	6	2. はくの まとまりを かんじとろう	(1)曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)拍子の違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組む。	・はくの まとまりを かんじとりながら うたいましょう。	○はしの 上で	○	◎			◎															**リズム** 旋律 **拍**	
						(そだてよう)２びょうしで リズムあそび①							○				○	○		○		○				
					・はくの まとまりを かんじとりながら うたいましょう。	○たぬきの たいこ	◎	◎			◎															
						(そだてよう)３びょうしで リズムあそび							○				○	○		○		○				
					・２びょうしと ３びょうしの ちがいに 気を つけて ききましょう。	♪ミッキーマウス マーチ／メヌエット																	◎	◎		
6	6	10	3. ドレミで あそぼう	(1)曲想と旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)互いの声や音を聴き合いながら階名で歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、音の高低に対する感覚を養う。	・音の たかさに 気を つけながら、 きいたり うたったり しましょう。	♪○ドレミの うた	○	○	○	○														◎	◎	音色 リズム **旋律** 音の重なり フレーズ 音楽の縦と横 との関係	
					・音の たかさに 気を つけながら、 うたったり ふいたり しましょう。	○◇かっこう	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎										
					・音の たかさに 気を つけながら、 うたや 鍵盤ハーモニカで おいかけっこを しましょう。	○◇かえるの がっしょう	◎	◎	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎									
					・うたに あわせて 鍵盤ハーモニカを ふきましょう。	◇○ぷっかり くじら	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	◎									
						(そだてよう)鍵盤ハーモニカで せんりつあそび												○		○		○				
7	7	6	4. せいかつの 中に ある 音を 楽しもう	(1)曲想と音色などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、身の回りの様々な音の特徴や音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、音楽づくりの技能を身に付ける。 (2)音色、強弱、音の重なり、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつ。 (3)身の回りにある音や、擬声語を使った音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくりの学習活動に取り組み、身の回りの音への意識を高める態度を養う。	・みの まわりの 音を こえで あらわして、 音楽を つくりましょう。	☆なきごえを つかって あそぼう												◎	◎	◎	◎	◎	◎			**音色** 旋律 強弱 音の重なり 反復	
					・かしの かんじを 生かして うたいましょう。	(共)虫の こえ	◎	◎	○	◎																

9	9	8	5. リズムを かさねて 楽しもう	(1)曲想とリズムや音の重なり、拍などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、器楽の技能を身に付ける。 (2)リズム、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 (3)拍子やリズムを意識して歌などに合わせてリズム伴奏をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組み、拍子やリズムに対する感覚を養う。	・２びょうしの はくに のって リズムを うちましょう。	◇〇この 空 とぼう		○			○	◎	◎	○	◎	○	○									**リズム** **音の重なり** **拍**	4分音符 4分休符 8分音符 8分休符
						(そだてよう)２びょうしで リズムあそび②								○			○	○		○		○			
					・３びょうしの はくに のって リズムを うちましょう。	◇〇いるかは ざんぶらこ	○	○			○	◎	◎	◎	○	◎	◎								
					・はくに のって 楽しく がっそうしましょう。	◇〇山の ポルカ	○	○	○			◎	◎	◎	○	◎	◎								
10	10	6	6. くりかえしを 見つけよう	(1)曲想と反復などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、反復を用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)リズム、旋律、フレーズ、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかやリズムの組み合わせ方を工夫し、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)旋律やリズムの反復に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる旋律やリズムの反復に親しむ。	・せんりつの くりかえしに 気を つけて うたいましょう。	〇かねが なる	◎	◎	○	◎	○															リズム 旋律 強弱 拍 フレーズ **反復**	
					・くりかえしを つかって 音楽を つくりましょう。	☆おまつりの 音楽													◎		◎		◎			
					・せんりつの くりかえしに 気を つけて ききましょう。	♪トルコ こうしんきょく																		◎	◎
11	11	6	7. いろいろな がっきの 音を さがそう	(1)曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わり、楽器の音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や歌声、伴奏を聴いて、音や声を合わせて表現する技能や、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、音の重なり、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかや、楽器やリズムの組み合わせ方を工夫し、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)楽器の音色に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる楽器の音色に親しむ。	・いろいろな がっきの 音の 中から すきな 音を さがしましょう。	♪だがっき パーティー																				◎	◎
					・がっきの 音の くみあわせを 楽しみましょう。	☆がっきで おはなし													◎	○	◎		◎			
					・いろいろな がっきの 音を かさねて えんそうしましょう。	◇〇かぼちゃ	○	◎	○		◎	◎	◎	◎	○	◎	◎								
12	12	7	8. ようすを おもいうかべよう	(1)曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)曲想と音楽を形づくっている要素や歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組む。	・かしや 音楽の かんじを 生かして うたいましょう。	〇あのね、のねずみは	○	◎	○	◎	○															**音色** リズム 速度 **旋律** 強弱 反復	
					・音楽が あらわす ようすを おもいうかべながら ききましょう。	♪たまごの からを つけた ひなどりの バレエ																		◎	◎
					・かしの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	(共)夕やけこやけ	◎	◎	○	◎	○														
					・かしの ようすを おもいうかべながら うたったり ふいたり しましょう。	〇◇小ぎつね	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	○								
1	1	4	9. 日本の うたで つながろう	(1)曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、言葉の抑揚について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。 (2)旋律、拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、旋律遊びを通して、音楽づくりの発想を得たり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)わらべうたに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、ほかのわらべうたにも親しむ。	・わらべうたを きいたり うたったり しましょう。	♪ずいずい ずっころばし／ あんたがた どこさ	○	○	○		○														◎	◎
						〇なべ なべ そこ ぬけ	◎	◎	○		◎														
					・３つの 音で せんりつを つくって あそびましょう。	☆名前で せんりつあそび												◎		◎		◎			

2 3	2 3	10	10. みんなで あわせて 楽しもう	(1)曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や楽器の音を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)歌声や楽器の音色、声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に表現する楽しさを感じる。	・たがいの うたごえを ききあいながら うたいましょう。	○楽しいね	◎	◎	○	○	○																	**音色** **旋律** 音の重なり 反復 呼びかけと こたえ	
					・うたごえと がっきの 音を あわせて えんそうしましょう。	◇○こぐまの 二月	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎										
					・がっそうの 楽しさを あじわいながら ききましょう。	♪エンターテイナー																		◎	◎		
					・みんなで 気もちを あわせて うたいましょう。	(共)はるが きた	◎	◎	◎	◎	◎																
年間		3	巻末	うたいつごう 日本の うた	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	夕 日／とんぼの めがね／シャボン玉	○	○	○	○	○															全般	
				みんなで 楽しく	各校の実態に応じて、 弾力的に扱うことのできる教材。	あの 青い 空のように	○	○	○	○	○																
						はるの まきば	○	○	○	○	○																
						あおい そらに えを かこう	○	○	○	○	○																
						手のひらを たいように	○	○	○	○	○																
						どこかで	○	○	○	○	○																
						ドレミで あそぼ	○	○	○	○	○	○	○		○		○										
						アイアイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。						国歌「きみがよ」	○	○	○	○	○																